演習課題3　レポート

0500319521 尾崎凌明

* 計算方法

2次元と4次元のRung Kutta法の安定領域を図示する。複素数平面に座標(-0.5, 0)を中心とする極座標をとって、固定したに対して、安定領域を表す関数(2次元なら、4次元なら)が0になるを求める。（これには、pythonのライブラリscipyを用いた。）これを、をずつ動かして、境界の座標を求めていき、それをプロットした。

* プログラム実行結果

ダイアグラム が含まれている画像

自動的に生成された説明作成したプログラムを実行した結果、左図のプロットが出力された（図１）。

図 　境界のプロット